

# 学年通信

5月28日(金)



## テストの振り返りより(生徒の振り返りの紹介)

①「今回の手応えは、あまりよくなかったです。その理由は、ただ一つ、課題に追われていたため**「繰り返し復習する」**ことができなかつたのです。課題をしていると、自分があたかも勉強ができていると感じ「テスト、いけるかも!」と思い込んでしまっていました。それに気付いたのが、テスト2日前でした。プリントをしていたら、全然進まなくてあせりました。なぜ、先生方が「繰り返し復習する」ということをいつも言われているのかが、分かったような気がしました。～後略～

②〈社会〉ワークのものを、**何回も覚えてかくして答え、違ったらまたやってを繰り返し、ノートの大事なところをしっかり覚えまし**た。重要語句は、**しっかり書き(書いて練習し)**、**テストで正解していたので、よかったです**。

(この学習法です。まず、考える以前に必要な知識を覚えて、自分のものにする。これが、テストの第一ステップ。その上で、今は、「資料(グラフや図)をもとに、考え質問に答える」というのが、どの教科でも必至の出題です。高校の入試問題もこのパターンです。なぜかという、単に断片的な知識をもっている、それを活用できなければ、社会では生きていけないのです。自分の持つ知識をうまく活用して、目の前に繰り広げられる諸問題を解決しなくてはならないからです。そういう意味では、今回の社会の問題は、とても素晴らしい問題でした。これまでの高校入試問題を網羅(残さず取り込んでいること)していました。しかし、高校入試の問題を解くためにみなさんは勉強しているのでは、ありません。世の中で必要とされていること、必要とされている力だから、入試問題に出題されているのです。今回、点数が伸びなかった人は、特にしっかり復習しておかなくてはなりません。この②の振り返りを書いた人の勉強法でやることです。自己テスト方式です。そして、文章記述のものは、必要な用語を理解することです。その用語が分からない状態では、文章記述はできませんから。今回の社会のテストを制することは、高校入試に必要な力をしっかり付けたということです。社会のテストの振り返りを皆さんと一緒にしながら、社会のテスト問題を見て、このような思いを持ちました。

③〈国語〉 **人物の気持ちを読み取ること**や、漢字が全然書けませんでした。先生に大事なところといわれたところは、びっしり覚えまし

これが国語を学習する大きな理由なのです。人と人との間で生きていくのですから、人の気持ちを読み取ることを練習していくのです。とても役に立つ学習です。

④（国語） **「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題」**に対して、**テスト前に何回も復習して暗記していた**ことが、よかったです。漢字のいろいろな読み方を知っておかなかったことと**テストの時間配分**がうまくできなかったことが悪かったです。

《国語》 **「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題」**これは、絶対に高校入試で出題されます。今回これが、サラッとできた人は、大丈夫です！一方、残念ながらできなかったという人は、必ずこれができるようになっておきましょう。また、時間配分は、全教科に共通ですね。できない問題をズーッと考えるのではなく、できない問題は、いったんおいておき先に進むことです。そして、一通りやってできない問題をじっくり取り組むのです。これが、テストの鉄板ルールなのです。時間配分に要注意！

⑤《理科》何と何が結びついて何ができるのか、自分なりの覚え方ができたことが良かった。**ネットで動画を見て、しっかりやったところ**を復習したことが、良かった。一方、**化学反応式の元素記号**をしっかりと暗記しておかなかったこと。学者の名前は覚えていたが、何をした人が覚えておかなかったことが、悪かったです。《理科》プリントで**大事なところ**を何回も覚え、**記号も何回も覚え、ワークをやって分からなかったら、調べてしっかり覚えました。**でも、式に直す問題が、あまりできなかった。

覚えることはきちんと覚え、自己確認テストのつもりでワークをやっていきます。授業があった日に復習の意味でやるのがベスト。試験発表から取りかかれば、この人のように納得いくまで教科書やノートを使って調べると本物の力になっていきます。課題を提出するためだけのワークにならないことです！ましてや、当日の朝「誰か、教えて〜。」といって空白だらけのワークをもって右往左往するのは、遅すぎますね。**早めに自分でまずやってみる。**そして、余裕をもって友達に聞いてみる。この教え合いで教える人はもっと理解が深まります。教えてもらった人は、サッパリ分からなかった域から、脱却し、次もチャレンジしようという意欲もわいてきます。これが、学校という場で、みんなで学習することのメリットなのです。分からないことをそのままにせずそれを言える集団、受け止める集団が、伸びる集団なのです。「得意分野を友達のために、発揮していく」そういう人が、多ければ多いほど、どんどん集団の学力もアップしていきます。

来週には、素点表が配布されます。

今回紹介した人のように、全員が自分自身の頑張りをしっかり振り返っておきましょう。とはいえ、一番のベースは授業中の集中です。ここが、ポイント！！一人ひとりが、授業の50分をどのように取り組んでいるのかを、もう一度振り返ってみましょう。

今回の友達の振り返りを参考にして、**みんなでがんばる2年生！！**に